

# 検査ニュース

Vol. 2 No. 6

ご挨拶

謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年は佐賀県健康づくり財団佐賀県健診・検査センターをご利用賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

今回は、「ノロウイルス検査」（新規項目）についてご案内致します。

公益財団法人佐賀県健康づくり財団  
佐賀県健診・検査センター  
専務理事 志 田 正 典

## ●新規項目

### ◆ノロウイルス RNA 定性

(検査受託可能)

ノロウイルスは、冬季を中心に流行する感染性胃腸炎の主な原因として知られていますが、近年、調理従事者等による食品の二次汚染が原因と思われるウイルス性食中毒が増加傾向にあります。

ノロウイルスは手指や食品を介して体内に取り込まれ、腸管で増殖し、糞便および吐物中に大量に排出されます。ノロウイルスの排出は症状消失後も数週間にわたり継続すること、不顕性感染者が一定数存在しており、発症者と同様に糞便中からウイルスが検出されることが明らかになっており、新たな感染源となる可能性が指摘されています。

検査としては、イムノクロマトグラフィー法やELISA法による抗原検査が広く普及していますが、調理従事者等の非発症者を対象とした場合は、より高感度な検査法を用い、ノロウイルスを保有していないことを定期的に確認することが望ましいとされています。

本項目は、リアルタイムRT-PCR法により、糞便中に存在するノロウイルスのGIおよびGIIを同時に検出いたします。最小検出感度は1反応あたり50コピーであり、概ね便1gあたり $10^5$ オーダーのノロウイルスを検出可能です。調理従事者等の衛生管理や、感染性胃腸炎の診断補助にご活用ください。

項目コード No	検査項目	検体量 (mL)	保存 (安定性)	採取容器	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	基準値 (単位)	備考
2180	ノロウイルス RNA定性	便 拇指頭大	凍結 ※当センターで行います。	便容器		2~8	RT-PCR	検出せず	単独検体でご提出ください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 依頼件数によって、所要日数が変動いたします。

案内書 掲載頁	項目コード No	検査項目	備考
90	2173	ノロウイルスRNA	新規項目(ノロウイルスRNA定性)受託開始に伴い受託中止

